

第7章

生活関連施設の被害と復旧

第 1 節 電力施設(九州電力株式会社鹿児島支社)

第 1 項 被害の状況

1 電力施設の被害及び停電

6 kV配電線の停電事故については、支社管内では奄美大島で3回線の配電線の一部で停電し、最大停電戸数0.1千戸(26日1時～6時)となった。

2 設備被害

< 配電設備被害 >

設 備	支持物 (本) [折損, 流出, 転倒, 傾斜]	電線断混線 (箇所)	倒木他 (箇所)
被害状況	7	12	11



配電設備被害状況(奄美市名瀬芦花部)

第2項 電力施設の応急復旧

1 土砂崩れ箇所の応急送電

奄美大島北部を中心に、山の斜面崩落、土砂崩れ、道路決壊等による電柱流出、電柱折損、電線断線など、様々な被害に伴う停電が発生した。いずれの被害箇所も奄美営業所の社員及び委託工事会社社員が急行し、復旧作業にあたった。電柱流出箇所の間引きによる送電、電柱の根元補強や断線した電線を応急的につなぎ合わせる等して、可能な限り早期に送電する応急送電を実施した。

2 床上浸水家屋の漏電調査対応

今回の水害で、床上浸水した家屋を対象に、漏電防止の観点から、住民宅を一戸一戸訪ね「漏電調査」のローラー作戦を実施した。

漏電調査は、延べ38名の当社社員及び関係会社や電気工事組合の協力により、約300戸を2日間で実施した。

第 2 節 ガス施設

第 1 項 被害の状況

1 発生場所 龍郷町赤尾木

LP ガス容器の種類：20K 2 本

流出又は埋没の有無：埋没

回収状況：全て回収済

被害の概要：家屋の全壊による土砂埋没

2 奄美大島本島の集中豪雨発生地域による顧客被災状況

床下浸水：119件

床上浸水：90件

合計：209件

上記件数のとおり浸水があったが、幸いに埋没や流出はなかった。

第 2 項 災害応急対策

昨年10月に発生した記録的な豪雨時と同様に、奄美支部役員とガス販売事業所の従事者等が中心となり、消費者宅に設置しているガス設備の状況把握のために巡回を行った。

今回は、昨年の集中豪雨災害時の対応が教訓となったこともあり、迅速な復旧が図られた。前回の反省点であった自治体との連携作業という課題もスムーズに行えたことも大きな成果であった。

また、昨年同様、ガス漏えいに伴う2次災害の発生がなかったのは、ガス漏えい等が発生した場合に自動的にガス供給をストップするという安全機能が組み込まれたマイコンメーターが有効に働き貢献したためと思われる。

今回も家屋の崩壊や床上浸水で避難された方々のために避難所が設けられ、これを受けて、県内で2回目の「災害時における応急生活物資の供給に関する協定」を発動し、避難所の3箇所が無償のガス供給を行った。

第 3 節 交通機関

第 1 バス（道の島交通）

1 被害・復旧の状況

龍郷町秋名の車庫に駐車していた車両 7 両が浸水し，故障した。

2 運行状況

崩土や路面冠水などにより，道路通行規制が実施されたことに伴い，龍郷町方面の路線で運休が発生したが9月28日午前 9 時頃には全線の運行を再開した。

3 被害額

車両の修理に80万円を要した（1 台は修理不能）。

